

津久見市の小児医療・小児保健の向上を目指して

# こどもの病気対策法⑪

## 喘鳴(ぜんめい)編

大分大学医学部地域医療 小児科分野担当 教授 是松 聖悟



子どもは、特に風邪の際に、呼吸音がゼーゼー、ヒューヒューということがあります。これを喘鳴と呼びます。その原因として、気管支喘息、喘鳴を惹起するウイルスや細菌感染（RSウイルス、マイコプラズマなど）、先天性の気管支奇形、異物誤嚥、心不全などが挙げられます。ただ、機嫌が良く、呼吸の苦しさがなく、眠れそうであれば、発熱の有無に関わらず、翌朝、病院を受診することで大丈夫と思われがちです。機嫌が悪く、呼吸も苦しそうななどの症状を伴って、水分補給などへと進んでください。

アレルギー体質（本人にアトピー性皮膚炎があるとか、家族に花粉症や鼻炎の人がいるとか）が基礎にあれば、喘鳴を反復する場合があります。その場合、気管支拡張剤の内服、テープ、吸入などを常備しておくことをお勧めします。

このような体質の人の喘鳴は、夜間から朝方にかけて悪化していくからです。薬局では買えませんので、同様の症状で病院から処方されたものを1回分、残しておいてはいかがでしょうか？ もちろん、兄弟等に処方された気管支拡張剤の残薬があったとしても、それは使用しないでください。副作用のもととなります。

その他の薬、例えば咳止めや鼻水止めは、喘鳴を悪化させることがありますので、ご両親の判断で内服させることは避けてください。市販の風邪薬には、咳止めや鼻水止めが含まれることが多いので、お勧めしません。

そして、一番大切なことは、喘鳴が毎月1回でもある場合は、重症喘息に移行させないために、予防治療を普段から行う必要があります。かかりつけ医に相談ください。

最後に、このフローチャートはあくまで目安です。不安な点、気になる点があれば、医療機関にお問い合わせください。そして、夜間でなく、日中であれば、病院の開いている時間内に受診ください。

### 夜間のこどもの喘鳴 フローチャート

